

オンライン開催

HCFIコンソーシアム2022年 新春セミナー

-20年後(2040年)を見据えた豊かな未来に向けた産業基盤の進化-

開催
日時

2022.1.18(火) 15:00▶18:00 [14:30 受付開始]

第1部



基調
講演

講演者：伊藤 智

(NEDO 技術戦略研究センターデジタルイノベーションユニット ユニット長)

イノベーションの先に目指すべき豊かな未来

第6期科学技術・イノベーション基本計画に、我が国が目指す社会(Society 5.0)として、持続可能性、強韌性に加えて、「一人ひとりの多様な幸せ」が記載されました。また、世界各国から数多くの豊かさやウェルビーイングに関する報告書が発行されています。このような動きを受け、将来社会が目指すべき豊かさやウェルビーイングの在り方に対して各国で発信されている報告書に加えて、政府の白書や未来予測の報告書など計75編の報告書を分析することで、イノベーションの先に目指すべき豊かな未来にとって、「大切にすべき6つの価値軸」や「実現すべき12の社会像」を整理し公表したので紹介いたします。



講演
1

講演者：齋藤 聡

(日鉄ソリューションズ株式会社 DX& イノベーションセンター所長)

共に進化し続ける、サステイナブルなDX実現への道

不確実性が増大しているVUCAの時代、環境・社会のサステナビリティ実現を目指し、多くの企業が自身の変革への取り組みを強めています。この変革のドライバーはデジタル・データ活用であり、それゆえDXというキーワードが企業にとって重要となっています。そして、企業自体のサステナビリティを考えた時、この変革/デジタル・データ活用を、限定的な一過性の取り組みにとどめることなく、企業全体に対する持続的な取り組みとすることが重要です。今回、サステイナブルなDXを推進するためのヒントを、事例を交えてお話しします。



講演
2

講演者：大石 善啓 (三菱総合研究所 常勤顧問)

「100億人・100歳時代」の豊かで持続可能な社会の実現

三菱総合研究所は、2020年9月に創業50周年を迎えたのを機に、次の50年を展望した「目指す未来社会」の姿とその実現策を明らかにする研究を実施しました。本研究では、「豊かさ」と「持続可能性」が両立する未来社会の実現への2つのキーファクターとして、人間の能力や可能性を拡張する革新技術による変革である「3X」と、一人ひとりの個の力を協調させ新たな価値を生む未来のコミュニティ「共領域」の構築を提案しています。長期的な未来に向け、社会と個人の新しい関係構築を通じて、いかに人々のウェルビーイングを高めていくか、次世代に向けた持続可能性を実現できるかが、個人の自己実現と社会全体の利益を調和させる重要なカギとなります。

第2部

パネルディスカッション

モデレータ：谷川運営委員長

豊かな未来に向けた産業基盤 SDGs目標8～働きがいと経済成長～

講師紹介



伊藤 智 (いとう さとし)

- 日立製作所中央研究所(1987-2002)材料シミュレーション、並列計算
- 産業技術総合研究所(2002-2020)グリッドコンピューティング、クラウド、グリーンIT、セキュアシステム
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構(2017-現在)TSC Foresightやレポート:IoTソフトウェア、自律分散システム、人間情報応用、AIを支えるハードウェア、スマートテレオートノミー、コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション像、イノベーションの先に目指すべき『豊かな未来』



齋藤 聡 (さいとう たかし)

- 1991年 新日本製鉄株式会社エレクトロニクス・情報通信事業部で業務開始
- 2001年 現)日鉄ソリューションズ株式会社へ
- 2009年 現)流通サービスソリューション事業本部へ
- 2010年 IT IS事業本部へ
- 2017年 システム研究開発センターへ
- 2020年 現職



大石 善啓 (おおいし よしひろ)

- 1982年4月 三菱重工業株式会社 入社
- 2008年4月 三菱重工業株式会社 先進技術研究センター長
- 2010年1月 内閣府 大臣官房審議官(科学技術政策担当)
- 2013年4月 三菱重工業株式会社 技術統括本部 技術企画部長
- 2016年4月 三菱重工業株式会社 執行役員フェロー
- 2016年10月 (株)三菱総合研究所 常務研究理事
- 2018年10月 (株)三菱総合研究所 常務研究理事 研究開発部門長
- 2020年10月 (株)三菱総合研究所 常務研究理事 シンクタンク部門長
- 2021年10月 (株)三菱総合研究所 常務研究理事 同年12月より常勤顧問

